
In the dream

ROAD

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

In the dream

【NZード】

N9841D

【作者名】

ROAD

【あらすじ】

記憶を失った『俺』が出会い新しい世界の物語です。

プロローグ

・・・頭が痛い

寝ぼけているのだろうか、視界がぼやけている

一生懸命田をこすってみた

あれ・・・

此処は何処だろう？

俺は誰なんだろう

プロローグ（後書き）

プロローグこんなに短くてすみません…第一章からはもっと
もっと頑張ります…ね

この小説は、私が夢で見たものを少し手直ししたものです。なので
ハチャメチャになっちゃうかもです…でもっつ！でももし気に入っ
ていただけたりしたら最後まで御付き合いで下さいませH

第1章 僕の世界

「あつみんなー、起きたよ起きたよー。」

「どうやら俺はベッドに寝ているらしい

何人かが俺のところに駆け寄ってきた。沢山の顔が、まだぼんやりしている俺の中の田の中でグルグル回る

「ど、まだ体痛いか?」

誰だこいつ? 駐れ駻れしくすんなつての。それより此処は…

「うひーべー」

「てめえ、返事べりーこしゃがれー! たいした怪我でもねえだろ?」

痛つてーーこいつにきなり頭殴りやがった…俺頭痛いんだぜ?

「こきなつ殴つてこじゃねえー!」

俺は立ち上がりつてうつむく

「あ? 人の心配無視してボケツつとしてるヤツに言われたくねえな

「んだとー。」

「はあ、朝つぱらから怒鳴つちまた。さつ、仕事仕事ー。」

仕事！？逃げんのか！？俺を殴ったやつを逃がすなんて

「待ててめえー、ひつ…」

大声出したらクラククラしてまた

もつヤツの背中すり見えない

「クツソ」

俺は硬い拳を作って自分を殴る

もう向なんだよ

此処何処だかわかんないし

俺が誰だかわかんないし

知らないヤツに殴られたし

しかも逃げられだし

マジイライラする

俺はベットに倒れこんだ。目を瞑る。そして、悪い夢なら…

「早く覚めてくれ。とか思つてゐんでしょ」

わつかのヤツとは違い、優しい声がした

吃驚した。知らないヤツなのに何故俺の心を読めるんだ？

「ふふつ。吃驚した？私達もあなたと同じような時があつたから、なんとなく分かるの。でも、あなたの世界は此処よ。何処にも戻れはしないの」

あんたは誰なんだよ。訳分かんない。俺の世界なんて知らねえよ
でも俺、なにハツ当たりなんかしてんだろう

「『コメン』」

ベットに横になつたまま俺は言った

目を見てなんて、言えなかつた

「泣いちゃ駄目だよおお」

幼くて甲高い声

「んつだよ」

俺、泣いてる？なんでだろ。頭がとても熱い

目をゆつくりと開けると、ぼやけてた顔がしつかりと見えた。小さいのから大きいのまでみんな泣いてやがる

「…」

「…」
こいつ等の事なんて何も知らない。でも、なんか懐かしい気がした

んだ

こいつ等が居れば、場所や名前が分からなくたって生きていける気がした

「ありがとう。」

自然に笑了

なんだかわからぬえけど、ホントにありがとう…

第1章俺の世界（後書き）

頑張つて書いたんですけど、なんだか展開が速くなってしまいまして…。それについてご意見いただけると嬉しいです。まだ第1章ですが感想とかももらえると…たいした作品かいてないのに図々しくて御免なさい！でわまた次章で

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9841d/>

In the dream

2011年10月4日14時33分発行